



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 日米協ギ(委)(船舶旗 外務省外交史料館レファレンス番号 : H220679)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.2 公開日 : 平成22年11月26日 外務省外交史料館管理番号 : A'.3.0.0.7-1(158) CD・DVD番号 : H22-005
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43721
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

船舶旗



特
連
局

北米局長

参事官

北米課長

秘
まで

送
新
本
と
は
別
送
協
議
中

沖繩船舶旗に関する外務大臣
発言ぶり(案)
(協賛委員会用)

昭和 41. 10. 14

米北

「去る5月開催されたオ9回協賛委員会の席上、日本
側から、沖繩の船舶旗の問題について、米側に対し、

要望をいたしました。この要望は、沖繩船舶に
対し日本政府が法律上の管轄権を有しなるとい

現状において、これら船舶に日章旗そのものを掲
揚せしめることは、法律上相当の困難があるので、

沖繩住民の心理的要望をいくらかなりとも満た
すため、現在の沖繩船舶旗のデザインを変更するよ

う提案するものであります。この提案は、日
章旗の上に「沖繩を示すなんらかの標識」を

併掲したものを新たに沖繩の船舶旗とされたい
というものであります。その際、米側から、この

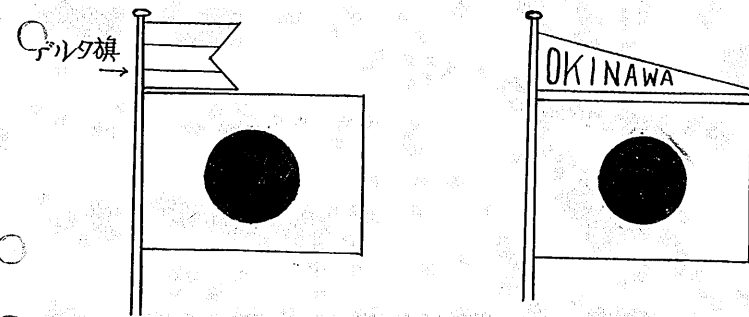
日本政府の提案をテーク・ノートする旨の御発言
がございましたが、その後の米側での検討の結果

をお聞かせ願いたいと存じます。

なお、わが方の提案の趣旨を明白にするため、

日本側提案の新船舶旗を例示したものをあ渡し
いたしますから御参照下さい。」(例四、別添)

沖繩新船舶旗の例



使用せよ

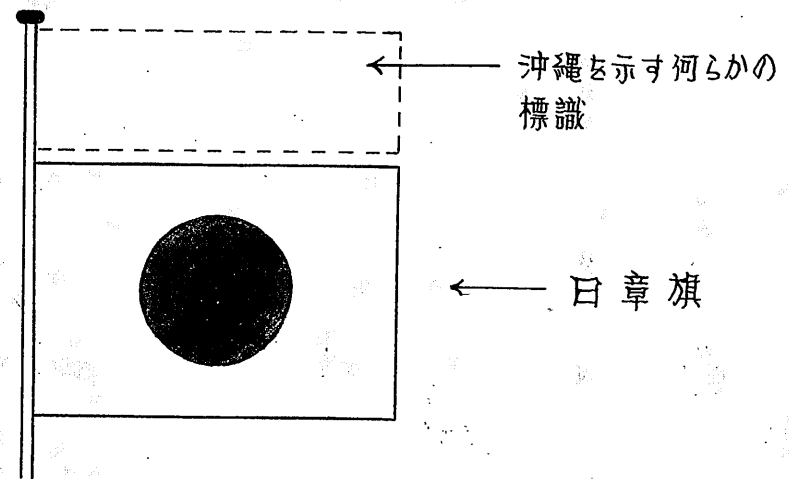
10/18 10.7

Reply by Minister Emmerson to Statement by Director
General Mori on the Question of the Flags to be
Flown on Ryukyuan Vessels

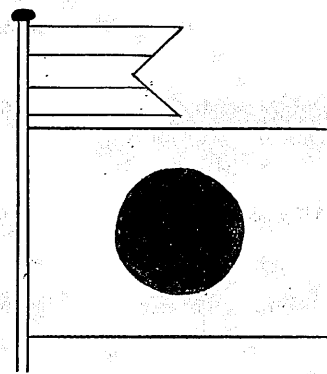
Mr. Mori has recognized that there are difficulties arising out of legal considerations or related to international practices concerning the vessel flag problem. He has requested the U.S. side to try to overcome these legal considerations and other difficulties.

Foreign Minister Shina, however, indicated that there were also legal difficulties involved on the Japanese side, and we understand that Japanese law would not permit the flying of the Japanese national flag on Ryukyuan vessels. The legal difficulties surrounding the flag question, therefore, are not solely on the American side, but include difficulties of Japanese law over which the U.S. has no control.

沖縄新船舶旗 ■ ■ 図解



(例 1)



(例 2)

